



2020年10月30日発行

バックナンバーは <http://karadakan.jp> でお読みいただけます。

〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町14-1
鶴岡タウンキャンパス 致道ライブラリー内
TEL 0235-29-0806
FAX 0235-29-0807

院長リレー
インタビュー
第三回

ともに考えよう

地域医療みらい図

自分のために 未来のために

からだ館通信60号から始めた「と

もに考えよう地域医療みらい図 院長リレーインタビュー」では、私たちが暮らす庄内地域の医療の現状について学んでいます。院長インタビュー第一回は日本海総合病院の島貴隆夫院長に、第二回は鶴岡協立病院の堀内隆三院長に、それぞれの院長の視点から見た地域医療の現状や目指す姿についてお話をうかがいました。三回目の今回は、鶴岡市立庄内病院の鈴木聡院長に伺いました。



2019年 鶴岡市立庄内病院 院長就任
鶴岡市立庄内病院
院長 鈴木聡さん

※インタビューは9月25日に行いました。

「医師不足と言われていますが現状はいかがですか」

（鈴木）庄内病院の令和2年4月1日時点の医師数は72名です。全国の500床以上の公立、公的病院の平均医師数に対して20名程度少ない厳しい現状です。そのため、日本海総合病院、山形大学、鶴岡地区医師会に医師の派遣をお願いしています。

ただ、去年は医師が不在だった呼吸器科に、今年度から一人専門医が加わりました。そうした良いことも広報していきたいと考えています。

危機感を共有し、機能の集約へ

（鈴木）医師不足は地域全体として深刻で、小児科、産科も減っています。先日、鶴岡協立病院と、三井病院、庄内病院で「南庄内の周産期・小児医療を考える会」を立ち上げました。現在、この地域で分娩を行っているのは上記の三病院だけです。このうち三井病院、鶴岡協立病院は産科医が一人で大変過酷な状況です。庄内病院の医師数は三名ですが、産科ばかりではなく婦人科腫瘍にも対応しているため足りない状況です。そこで、集約化を考えて話し合いを始めたところです。ただ単に一つに



9月25日、鶴岡タウンキャンパスにて、左から齊藤彩、瀬尾利加子

し、安心安全なお産の実現を目指しています。庄内病院には、NICUのベッドが6床、集中ケアを脱した児の回復治療室（GCU）のベッドが6床あります。24時間小児科医が常勤し、いち早く赤ちゃんの状態に対応しています。

（※1）地域周産期母子医療センター

母体・胎児及び新生児において、リスクの高い妊娠に対する医療や、高度な新生児医療の充実を図ることを目的とした施設

（※2）亜急性期

亜急性期とは急性期経過後に引き続き入院治療を要する状態

なるのではなく、それぞれの病院の強みを生かし、機能の分散と集約を考え対応することが大切です。今後さらに連携が必要だと考えています。本来、庄内病院は急性期の医療を提供する役割を担っています。しかし今後は亜急性期（※2）の患者さんが増えていくことから、その対応もしなければなりません。手術後の患者さんを診る他の病院、慢性期病院との連携も必要です。地域に必要な機能を維持するために、病院同士危機感を共有していかなければならないと考えています。

次ページに続く

国立がん研究センター東病院と連携し「がん相談外来」

庄内病院と国立がん研究センター東病院は今年、地域医療の貢献を目的とした連携協定を締結し、いよいよ11月より毎月「がん相談外来」が開設されます。鈴木院長に概要をご案内いただきました。

庄内病院に通院している患者さんが、がんの治療や副作用についての不安等を「国立がん研究センター東病院」の医師と直接会って相談できる外来です。院内のセカンドオピニオンの役割で、費用は再診料のみとなります。

受診を希望する場合は、庄内病院の主治医か、看護師に伝えてください。但し、がん相談外来を受診できるのは、庄内病院の医師が担当しているがん患者さんとそのご家族です。ご家族みなさんで相談内容を共有していただきます。

受診後、主治医と患者さんと再度治療方針について検討することになります。がん相談外来を受診しても主治医との良好な関係は変わりないので心配はいりません。

将来的には遠隔診療システムを使ったセカンドオピニオンなど、患者さんへ負担の少ない、医療を提供していきたいと考えています。

さらに医師や看護師など医療スタッフの人事交流を積極的に行い、診療のレベルアップを図っていきます。この連携によってより良い地域医療への貢献ができればと考えています。

がんの最先端医療を鶴岡の地で

がん相談外来

スタート



国立がん研究センター東病院（千葉県柏市）

庄内病院で国立がん研究センター東病院の専門医の意見（セカンドオピニオン）を聞くことができます。

11月から月1回の診察です。
日時：11月 6日（金）
12月 4日（金）
来年以降の予定は随時お知らせします。

受診したい方は・・・
当院主治医にご相談下さい。

このような悩みをお持ちの方、ご家族と一緒に相談しましょう。

ご不明な点は
地域医療連携室 佐々木・菅原
までご連絡下さい。（26-5155）

国立がん研究センター東病院全田医師が担当します。

手術したくない
副作用が
最新の治療を受けたい
私に一番合っている治療ってなに？
これからどうなるのかしら？

「地域医療を持続させるため」

「私たち住民にできること」はありますか

（鈴木）病院を受診する場合、紹介状が必要な仕組をご理解いただきたいです。すべての診療科に十分なマンパワーがあるわけではないのです。決して住民の皆さんに意地悪しているわけではありませんよ。通常、医師は午前中、外来診療をします。外来に時間が掛かり過ぎると、午後の手術や検査に差しさわりのある場合もできます。医師が時間的に余裕をもって診療させていたために、「何となく調子が悪いから病院に行く」のではなく、まずはかかりつけ医を受診してもらいたいです。かかりつけ医の役割を理解していただくことが、地域医療を守っていくために大変重要なことと考えています。

「この10年、20年の地域や医療の変化を」

庄内病院ではどう感じていますか

（鈴木）約30年前に私が来た当時の庄内病院は、古いけれど医師も今よりずっと多く、何でもできる基幹病院として、良い医療を提供しているという自負がありました。

2008年より、この地域では緩和ケアを地域全体に広げていくための「庄内プロジェクト」が始まりました。そこで地域住民に調査をして、結果に愕然としました。病院に対して信頼、安心感を感じている患者さんがあまり多くなかった、むしろ批判的な気持ちを持っていたことが明らかになりました。この結果を謙虚



インタビューの一人、秋山美紀はオンラインで参加しました。

に受け止め、そこから「なんとかしなければならぬ」と、医療者の意識が変わったと思います。庄内プロジェクトをきっかけに、地域全体で連携が良くなり、医療者の困難感も少なくなり、患者さんが安心して退院できるようになったと感じています。当院でも手術をするだけでなく、患者さんが自宅に帰った後の生活やその人全体を診る視点を持つ医療者が増えたと思います。

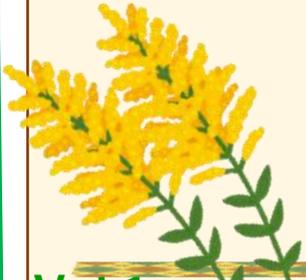
医療者も住民も変化している

また住民にも変化を感じています。以前は庄内人はおとなしいと感じていましたが、今は違います。地域の皆さんが医師や研修医と語り合う「車座トーク」では、皆さんが堂々と病院について要望や意見を言う姿に驚かされます。問題解決のために一丸となれる人たちがたくさんいます。ありがたいですね。

こころのセルフケアセミナー開催

参加者募集

こころの
SOSに気づいていますか？



『仕事や病気・様々な人間関係・コロナ禍不安』
や『なんとなく日々モヤモヤする』など悩みを
抱えている人も多いのではないのでしょうか。こ
のセミナーではこころのセルフケアについて
学んでいきます。自分と向き合ってみませんか。

Vol.1

11月21日 (土) 13:30~15:30
(開場/ 13:00)



「自分のこころとの向き合い方を
考えてみましょう」

館野 弘樹氏

●慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科博士課程在籍
●東京大学大学院教育学研究科修士 (臨床心理学)

Vol.2

11月29日 (日) 10:00~12:00
(開場/9:30)

リモート講演



「自分のこころを守るセルフケアと傾聴、
~カウンセリングマインドとウィズコロナ~」

杉山 雅宏氏

●埼玉学園大学人間学部心理学教授
●埼玉学園大学 臨床心理カウンセリングセンター長
●博士

Vol.3

12月13日 (日) 13:30~15:30
(開場/13:00)



ワークショップ(会場参加のみ)
「体験で学ぶ、自分のタイプとカウンセリン
グマインド」

- ◆ 参加料 無料
- ◆ 定員 各20名(リモート参加除く)
- ◆ 会場 各回共通 鶴岡市先端研究産業支援センター
大会議室 (鶴岡市覚岸寺字水上246-2)

※一回だけの参加も可能です

【お申込み・お問い合わせ】11月1日から

◆ 庄内こころ塾 TEL 090-6689-2050
email shonai.kokorojyuku@gmail.com



Facebook

メール

主催 庄内こころ塾 (鶴岡市・酒田市ボランティア登録団体)
共催 慶應義塾大学先端生命科学研究所からだ館
後援 鶴岡市 酒田市 ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ(株)

詳細はからだ館HPからも
ご覧いただけます
<http://karadakan.jp/>

患者に真心を届け、地域に
愛される病院でありたい

(鈴木) 医療者は人として基本的なこ
ろを身に着ける必要があります。患者
ファーストは当たり前で、患者さんへ真
心を届けなければなりません。
さらに職員や病院に関わる方々にも気
持ちよく働いてもらいたい。それがなけ
れば患者さんへ良い医療を提供できませ
ん。自分の組織を誇り、家族にも自慢で
きるような病院でなければ地域医療は良
くなりません。
庄内病院は公立病院です、市民に見放

されたらおしまいです。市民の要望をお
聞きし、市民目線で一緒に病院を作って
いきたいと考えています。これからも地
域の病院として頑張っていきます。
最後に、コロナ第二波については、病
院だけでなく鶴岡市、鶴岡地区医師会そ
他、様々な機関と連携し対策をしていま
す。第一波の反省も含め知恵を出し合い
対応していきます。患者さんには少しご
不便をおかけしますが、引き続きご協力
をよろしく願います。

(了)



鈴木聡先生ありがとうございました！
聞き手は、秋山美紀 (中央上の画面内)
齊藤彩 (中央下) 瀬尾利加子 (右)

聞き手のプロフィール

齊藤 彩 からだ館スタッフ、社会福祉士。 院長イン
タビューを通じて地域医療体制の情報を発信し、ここで
暮らす皆で医療のことを考えていきたいと考えている。
瀬尾 利加子 (株)瀬尾医療連携事務所代表、鶴岡市地域
医療を考える委員会委員長。2015年まで鶴岡市内の病
院に勤務後、高齢社会から起こる医療課題の解決策に取り
組むため起業。みどりまち文庫を運営。
秋山 美紀 からだ館リーダー 慶應義塾大学教授
鶴岡市地域医療を考える市民委員会コーディネーター 中央社会
保険医療協議会公益委員等。約15年にわたり庄内地域の
医療をウォッチする傍ら、国の医療政策にも関わる。

院長リレーインタビュー記事はからだ館
ホームページよりご覧いただけます。



マルシェ開催決定！

がん患者サロン、にこにこ倶楽部有志がマルシェを開催します。皆さん、張り切って準備中です。素敵な、楽しい、おいしい？商品がありますよ。ぜひ、お立ち寄りくださいね(#^.^#)



打ち合わせの様子

日時 11月25日(水) 15:00~18:00
会場 鶴岡市本町1丁目7-45
まちづくりスタジオ鶴岡Dada

収益の一部は若いがん患者支援に利用されます

見学会開催



酒田市移住希望者 10/13

酒田市へ移住希望の方が見学されました。からだ館の取り組みに興味を持ってくださいました。活動内容を説明した後、意見交換を行いました。移住した後やりたいこともしっかり見据えていらっしゃる、私達にも刺激になりました。

小堅地区保健推進員の皆さん 9/11

今年度初の見学会です。活動内容と健幸かるた、この葉プロジェクトを紹介しました。館内に展示してある「この葉」オリジナルポストカードをご覧いただき、早速アンケートに答えてカードを選んでいただきました。



絵手紙教室



9月のにこにこ倶楽部で、参加者の作品を見て「私もやってみよう」と言ったことがきっかけになって、「からだ館絵手紙教室」が実現しました！講師は、同じにこにこ倶楽部の参加者です。



始めは不安そうな皆さんでしたが、作りたいものが決まったら俄然スイッチが。布を貼ったり写生して色を塗ったり。「工作なんて学校以来！楽しい！」と、無心に手を動かし、会場が静まり返る瞬間もあったほどでした。

出来上がった作品を皆さんで披露しあって大満足！



「今度の教室はいつ？」と、今から次回が楽しみで待ちきれない様子でした。

にこにこ倶楽部



がんを経験された方・そのご家族が、
経験・想いを分かち合うサロン



10月2日、爽やかな秋晴れのにこにこ倶楽部。参加者さん持参の**コカリナ**の演奏「ハッピーバースデー」に合わせて、皆さんの拍手でお祝いしました。木でできた、手のひらに収まるくらい小さな楽器でしたが、温かい音色に、皆さん笑顔がこぼれました。

日々の暮らしを送る中、様々な思いはありますが、皆さんに共有してもらえると温かいひとときです。

今後の開催日 11/6 12/4 1/8
毎月1回第一金曜日開催予定
時間：10:00~11:00
会場：鶴岡タウンキャンパス3階
会費：お一人 100円

～*～* お願い *～*～

- ◆ 各自飲みものをご持参下さい
- ◆ マスクを着用ください。
- ◆ おつりのないようご準備ください

★開催変更の場合もあります
ご不明な点やお問い合わせは「からだ館」まで電話番号
0235-29-0806

編集後記



実りの秋ですね。うちの畑では、いも類が収穫時期を迎えています。形もでこぼこ、大きさも様々ですが、自分たちで作ったものは特別にうれしい気がするから不思議ですね。今回、うちのじゃがいもをにこにこ倶楽部有志開催のマルシェに出させていただきます。(紙面「マルシェ開催決定」の記事をご覧ください。) 売れるかな？どうかな？楽しみではない私です(#^.^#)。他に、ネックレス、洋服など素敵なものがいっぱい並びますよ。ぜひ、いらしてくださいね。